



わたしたちがつくる法人の未来 つながりを感じて力に変える

VISION 対話

2025年 6月 5日・10日・11日

課長・マネジャー、児童館の主任等の対話の場が設けられました

「2030VISION構想プロジェクト」を進める中で、法人の未来について何度もワークを重ねてきました。未来を考えれば考えるほど、これまでの法人職員の歴史と、今を働く職員の日々の営みがいかに大切なものであったかと改めて感じました。このプロジェクトが始まったおかげで、同じ法人で働く仲間でありながら、出会うことも話すこともなかった方々といろいろな場面を共有し、対話を通して、多くの法人職員が、目の前のご利用者や子どもの些細な変化にも寄り添い続け、ケアの質にこだわった支援を目指していること、またその職員や施設・事業所を支える事務方職員の温かさに触れ、「目指す福祉は、もうやっていますやん」と思いました。そのことが、今回のVISION対話で、まずお伝えしたかったことです。

法人の未来は、私たちの日常があるからこそ語られるものであり、決してかけ離れたものではありません。私たちが未来に向かってどうなりたいか、どうありたいかを語り合い、方向を示すことは、時代とともに変化する課題解決に向かうと同時に、質の高い福祉を地域社会で展開し続けることにつながります。そのことがご利用者の明日も、そして私たちの今も支えます。日々の現場を支える皆さんそのものが、法人の未来をつくっていく尊い存在であるからこそ、掲げるVISIONのもと、一緒に力強くすすんでいけると思いました。人を思い、力を尽くしている毎日に誇りを持ち、子どもたちやご利用者、そして地域のさまざまな人とともに、お互いを補い合って、笑い合って、ごきげんに仕事のできる法人にしていきたいと思います。

理事 木戸 玲子

VISION対話参加者の声

3日間で課長・マネジャー及び児童館の主任等、94名が集まり、職場やサービスを越えて業務のやりがいや悩み、課題を共有しました。リーダーとして日々現場を回している皆さんがこのVISION対話を通じて感じたこと、考えたことを語ってもらいました。

理事の2030VISIONに対する熱意を感じながら、頭の中の「？」マークを「!!」マークに変えるため、日頃の業務で感じている事など、グループワークで沢山お話しさせていただきました。上手く言えませんが、参加する前より前向きな印象に変わったことは間違いありません。



谷山 忠司 マネジャー
塔南の園特養 ケアワーカー

皆さんそれぞれがより良い協会にしたいと思う気持ちが大きくなって色々なアイデアを出し話し合う事がとても楽しく、前向きな良い時間を共有できたと感じています。対話の中での気づきやアイデアを生かし、みんなで作り上げていく協会には「選ばれる未来」が待っていると思います。



栗山 涼子 マネジャー
経営企画部 事務員



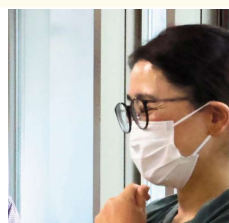
清水 将光 主任
修徳児童館 児童厚生員

「対話を何度もくり返し、大事にしたいコトは時間をかけてつくっていく」そんな時間に参加させて頂きました。「皆さんはチームの要です！」という言葉に励まされながら、現場を思い、チームを引っ張っていかうと日々努力をしている仲間がいることを強く感じました。



北川 純子 マネジャー
朱雀事務所ケアマネジャー

私たちの仕事である介護や相談業務は地域社会への貢献だけでなく、その経験から自分や家族の健康や経済面など、人生をより良く生きるヒントを得られ、地域と自身の間で循環していると考えます。この仕事を選んで良かった。この仕事はもっと評価されてよい。と改めて感じます。



秋田 純子 マネジャー
本能特養 看護師

変化の激しい時代の中で、VISION決定の延期は残念です。いいものが決まる前にいい人財が流出しています。どうかスピード感を持って、職員を育てて増やし、大切にしてください。職員が個々の力を十分に発揮できるように、VISIONという旗ができることを私は期待しています。

ダンチとフクシのミライをデザインする

8大学連携プロジェクト 設計案報告会

2025年6月22日 キャンパスプラザ京都

古くなった団地の8つの空き住戸を「京都で福祉の仕事をする職員の住まい」に生まれ変わらせるプロジェクト。しかも、1つの住戸を1つの大学が担当し、8つの特色ある設計となる計画です。この日は、協会の現場職員も出席し、設計案のプレゼンと模型を見ながらの意見交換を行いました。参加した職員の感想から、どんな部屋かをイメージしてください！

参画団体

- ・京都工芸繊維大学
- ・京都市立芸術大学
- ・京都女子大学
- ・京都精華大学
- ・京都大学
- ・京都橘大学
- ・京都美術工芸大学
- ・京都府立大学
- ・京都市
- ・京都福祉サービス協会

各大学からは、本当に魅力的で想像以上のクオリティの設計が登場。

これを文章では表現できないのですが、住んでみたいと思えるワクワクした部屋になりそうです。

私たち「福祉」を仕事にする者の生活のために、学生や先生方がこんなにも考えていただいていることに感謝です。年度末までの竣工に向けて、共に進みます！

毎日が楽しく、今日はどこで過ごそうかな♡と考えてしまう部屋やなあ

片付けなきゃって思わなくてもモノを置いておけるアイデアがいいな。

部屋の中に部屋をつくる新しい考え方でおもしろい！

団地内の居室に「土間」はざんしんなアイデアですね。照明計画も素敵です。

あえて1本、梁をずらしているのがおしゃれだし、本当にバランスが絶妙で素敵！



床暖びっくり!!
暖かくて寝てしまいそう



ノーリフティングケア推進プロジェクトチーム 研修

働く介護職員の負担軽減と同時に、ご利用者へのケアの充実、重労働や3Kといったこれまでの介護業界における介護労働イメージの刷新に繋げることを目的に、このプロジェクトは法人の各事業拠点の代表が集まり、持ち上げない介護技術の習得に励んでいます！

ノーリフティングケアは、各写真のように、ご利用者に優しく触れて、皮膚や身体に負担をかけない支援の方法です。できるところは一緒に動いて頂きながら、滑るように快適な方法で移動や移乗を行います。このようなケアを新しい介護技術として学び、ご利用者に提供できるまでトレーニングした上で各拠点での実践に移行します。

高齢の方や心身に不自由のある方々へ、リラックスして痛みも苦しさも感じず、支援する職員と共に余裕を持ったケアを目指して、今後も推進研修は続きます。



スライディングシート使用



スライディングボード使用



スライディンググローブ

プロジェクトメンバーの想い

「楽＝OKでいいのか？」「ご利用者をモノのように扱いたくない」との考えもあった。しかし、実践することで身体の負担軽減を実感しているし、人手不足を補うためにも、ノーリフティングケアの導入の必要性を感じている。

若いころは正直、ご利用者を抱え上げる体力があったし、時間のない中で自分もそうしてきた。施設によって導入方法は異なる想定だが、わたしたちリーダーが信念をもって、必要なケアだとみんなに伝えていく責任を感じている。



スライディングシート+補助帯

先駆的にノーリフティングケアを実践している施設での研修では、ご利用者が安心して身をゆだねていたことが印象的だった。

「機械よりも人の手で」という言葉もあったが、どちらが良いという話ではない。機械を使う人の資質や気持ちの持ちようが大切。

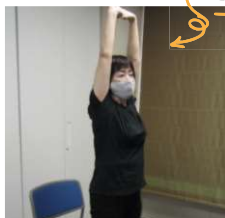
研修を通じて、ご利用者と職員の安全を守れる介助を、続けていけるという実感がある。職員に浸透するには時間をかける必要はあるが、そのステップもしっかりスケジュール化し、実践していったらいいと思う。下半期以降、少しずつ導入していきたい。

身体を守るストレッチ

モデル：人材研修センター 川内直美さん

背伸び運動

急ぎの時はこれだけでも！



肩と胸の後ろストレッチ



肩と胸の前ストレッチ



股内転筋のストレッチ



大腰筋とふくらはぎのストレッチ



ハムストリングのストレッチ



大腿前面のストレッチ



背骨を曲げないお尻を引いたスクワット





たこ焼き！タウンミーティング

2025年6月24日 山科区西野山団地

当日はあいにくの雨…の中、約200名の皆さまにご参加いただきました！2022年11月に始まったタウンミーティングは、地域住民をはじめ京都市や企業、法人職員など、多くのセクターを巻き込んで大盛況の恒例イベントに育っています。今回は、高齢者にとって社会とのつながりや暮らしの支えとなる“シェアセニアカー”の試乗体験会も同時開催し、地域住民の驚きの表情が天候を忘れさせてくれました。



職員のよこ糸をつなぐ

よこ糸カフェ

〆オシャレを極める写真講座／
2025年7月13日 修徳児童館

2025年度は、初の法人本部主催、お子さん連れでも参加可能な日曜日に開催しました。日常的にスマートフォンで撮影することが増えている時代に合わせて、写真系インスタグラマーりょうすけさんを講師に迎え、グループでイケてる写真の撮影に挑戦！グループで話しながら、大人は普段はできない学び体験を共有し、お子さんには「駄菓子屋」が大好評でした！（次回のよこ糸カフェは9月開催予定）



充実！「厚生会サークル」

法人内には、趣味を同じくする仲間がともに集まって「サークル活動」が数多く行われています！これから、シリーズでご紹介していきます。

「厚生会サークル」とは？

厚生会では、福利厚生の実現を図る目的で、職員から構成される「サークル活動」を応援しています！参加してみたい！サークルを作ってみたい！という方は、各厚生会執行委員までお声がけください。

【サークル一覧】

- ・初めてのトレッキングサークル
- ・ゆったりヨガ
- ・やさしいヨガ
- ・なんでも体験クラブ
- ・ゴルフサークル
- ・Verde(バレーボール)
- ・フィッシングサークル
- ・アララ(音楽バンド)
- ・ゆるゆるピラティス
- ・やさしいヨガ 南
- ・ゆるゆるフィジカルダンス
- ・山科ヨガサークル
- ・〇〇のための筋力づくり
- ・チームかえるの歌(ウクレレ)

ベルデ「Verde」バレーボールサークル

「Verde (ベルデ)」は久我の杜から始まったバレーボールサークルで、旧施設部・旧住宅部の職員が一緒に活動しており、年に1回開催される共済会の大会にも参加しています。(2024年度は優勝！)

メンバー募集中!!!

現在は参加者が少ないので嵐山寮さんと合同練習しています。経験や運動の得意・不得意に関わらず、誰もが楽しめることを大切に、ゆるく楽しく体を動かすことを目的にしていますので「バレーボールは初めて」「運動は久しぶり」という方も大歓迎です。職場の同僚や友人と一緒にぜひお気軽にご参加ください！（お問合わせ：久我の杜 鶴飼 隆也）



Associé編集後記

表紙右上のイラストは「厚生会各サークルの小道具」でした。皆さんもやりたいサークル活動はありますか？1月にゴルフを始めたアラフィフです。真夏のラウンドでは息絶え絶えになりながら、生涯スポーツを始められた喜びと共に熱くなっています！（N）気づけば海外アーティストの来日が増えましたね。コロナの時は何度来日キャンセルに泣かされたか。いい時代になりました。（A）

